

質問回答書

令和5年9月21日

入札参加業者各位

公立大学法人横浜市立大学

件名： 【特定調達契約】据置型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置等一式の購入

上記件名に係る契約について、次のとおり質問がありましたので、回答します。

担当 公立大学法人横浜市立大学
附属市民総合医療センター
経営企画課経営企画担当
電話 045-253-5322
メール ukeiyaku@yokohama-cu.ac.jp

質問		回答
<質問1>		<回答1>
100)	ディレイタイム 「0～100秒の範囲で」と記載ありますが、範囲に収まれば宜しいでしょうか。	仕様書記載の通りです。0～100秒の範囲内で設定可能であれば仕様を満たすと判断します。
<質問2>		<回答2>
101)	ライズタイム 「0～10秒の範囲で」と記載ありますが、範囲に収まれば宜しいでしょうか。	仕様書記載の通りです。0～10秒の範囲内で設定可能であれば仕様を満たすと判断します。
<質問3>		<回答3>
146)	セクタプローブは1MHz～6MHzと記載ありますが、この周波数帯域内に納まるプローブであれば問題ないでしょうか？	仕様書記載の通りです。セクタプローブは1MHz～6MHzの周波数帯域内であれば仕様を満たすと判断します。
<質問4>		<回答4>
26)	統合モニタは27インチ以上のモニタで2台以上設置すること。マウスおよびキーボードはワイヤレス式が対応可能であること。と記載ありますが、統合型モニター (FlexSpot) の標準で搭載されるマウスとキーボードは有線です。ワイヤレスはPhilips推奨のオプションではないためご了承いただけますでしょうか。	ワイヤレス式での動作が保証できない場合は、有線接続を認めます。

〈質問5〉		〈回答5〉
39)	<p>ルーチン角度はプログラム設定で操作が可能であること。また、SID、テーブル高、補償フィルタ等もプログラム設定が可能であること。と記載ありますが、角度、SIDに関してはプログラム設定で操作可能です。テーブル高に関してはプログラム設定は不可能です。理由として、体厚によってテーブル高かわって、アイソセンターずれるため、結局、調整が必要となるためです。保障フィルタは角度に対し自動挿入できる機能はございます。テーブル高や位置に関しては、撮影済み画像に対して、手技中に現在の位置を登録すれば、自動でポジショニングが可能です。ご了承くださいませでしょうか。</p>	<p>臨床上、ご提案の機能で対応可能と判断します。</p>
〈質問6〉		〈回答6〉
59)	<p>回転撮影はアーチファクト低減のため、複数軌道の撮影が可能であること。また、複数時相の連続撮影が可能であること。と記載ありますが、現行のリリースでは複数軌道の撮影・複数時相の連続撮影には対応しておりません。導入までに該当機能が実装される場合は、機能に追加させていただきます。こちらの対応で入札を進めさせていただいてもよろしいでしょうか。</p>	<p>仕様書記載の通りです。リリース後の当該機能追加を認めます。複数時相の連続撮影については、現行の往復2相回転撮影が可能であれば仕様を満たすと判断します。</p>
〈質問7〉		〈回答7〉
83)	<p>画像処理・治療支援機能 2項目目：3Dアンギオ、CT、MRの画像表示が可能であること。また、マルチモダリティフュージョン機能を搭載しており、他モダリティの3Dデータと血管撮影装置による3Dデータの重ね合わせが可能であること。装置搭載の画像解析装置にて前述の処理が不可能な場合は、別途3D画像解析システムを設置し、治療支援アプリケーションを搭載すること。詳細は放射線部担当者と別途協議すること。と記載ありますが、治療支援アプリケーションとは具体的にどのような解析になりますでしょうか？</p>	<p>治療支援アプリケーションはIVRプランニングおよびEPプランニングを指します。</p>